



# いただいたご質問への回答

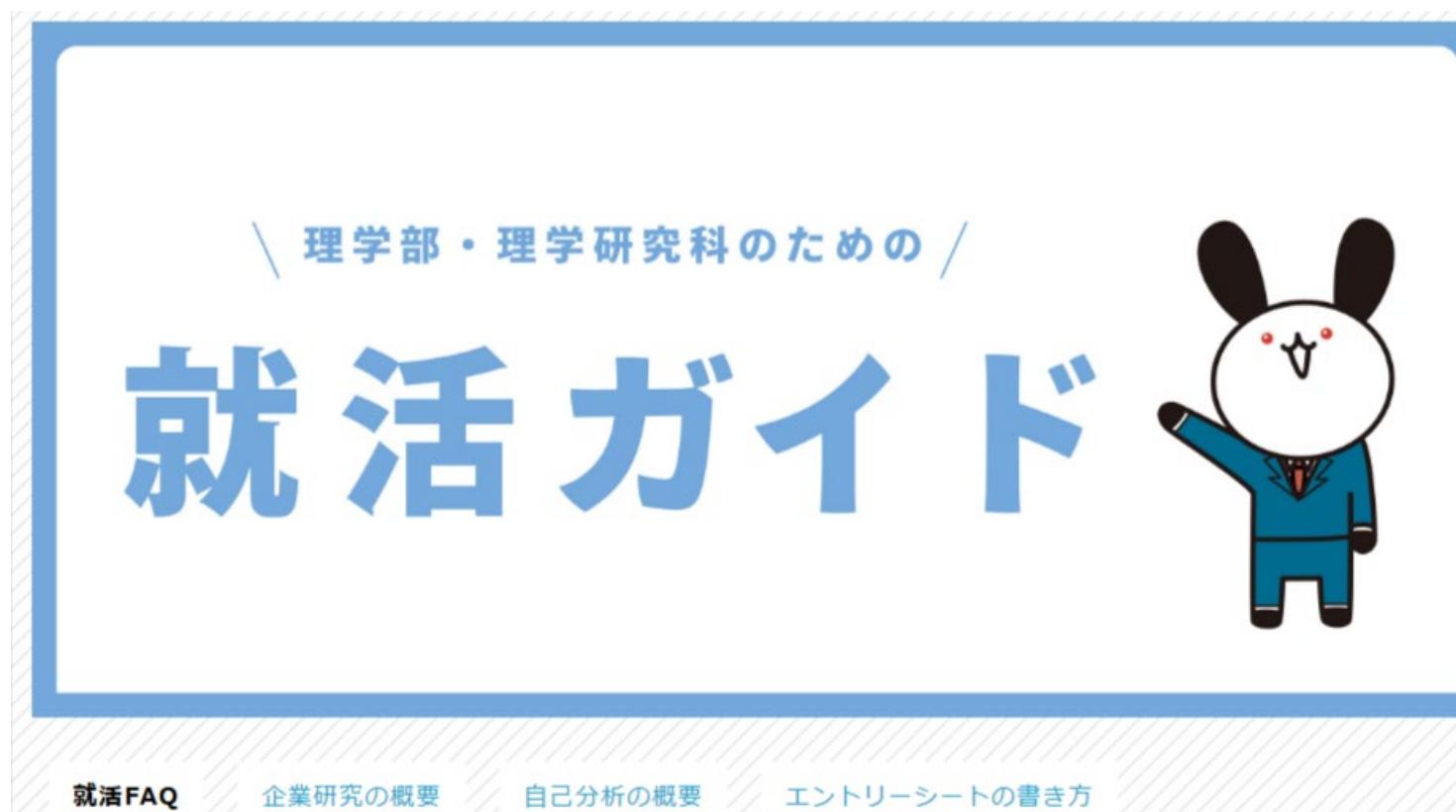
オンライン交流会  
「進学・就職・経済支援に関するここと」

2025年9月13日（土）  
東北大学理学部・理学研究科  
保護者交流会2025

・就職活動のスケジュールと支援内容を教えてください。

A

●本研究科では、学生向けに「就活ガイド」を作成し、学生へのアドバイスなどに利用しています。その中に就活のスケジュールなど書かれていますので、そちらをご覧ください。  
(<https://www.sci.tohoku.ac.jp/career/faq.html>)



進学・就職ハンドブックは  
こちらをご覧ください！



# 就職活動への支援、進路や就職先について動画公開中！

- 保護者交流会のホームページで公開中！  
(<https://www.sci.tohoku.ac.jp/parents-guardians/>)  
講演②：「キャリア支援の取り組み」

・西村 君平 特任講師（理学教育研究支援センター キャリア支援室）



【東北大学理学部・理学研究科保護者交... 保護者に知ってほしい 後で見る 共有

東北大学理学部・理学研究科の  
**就職情報**

東北大学大学院理学研究科  
キャリア支援室

見る YouTube

本日の内容

- はじめに
- 東北大学理学部・理学研究科の進路
- 理学のお得意様業界
- 理学の強みが活きる職種
- おわりに



※動画へのご質問などございましたらお気軽にご連絡ください。

理学教育研究支援センター キャリア支援室  
西村君平（特任講師）  
TEL: 022-795-3850 E-mail: [sci\\_career@tohoku.ac.jp](mailto:sci_career@tohoku.ac.jp)

・奨学金など博士後期課程の経済的な支援について教えていただきたいです。

A

●博士学生向けの奨学金をHPに整理していますのでご確認ください。  
(<https://www.sci.tohoku.ac.jp/student/post-15.html> )

奨学金については年度により変更点も多いため、ご不明な点があれば教務課学生支援係までお問い合わせください。



東北大学 大学院理学研究科・理学部

TOHOKU  
UNIVERSITY

Graduate School of Science and Faculty of Science, Tohoku University

キャンパスマップ  
アクセス  
お問い合わせ

東北大学 理学研究科・理学部 | 学科・専攻 | 受験生の方 | 一般の方 | 企業の方 | 卒業生の方 | 在学生の方 | 教職員の方 | コロナ関連

在学生の方



[トップ](#) | [在学生の方へ](#) | [博士向け奨学金制度](#)

博士向け奨学金制度

▼ [在学生の方へ](#)

・数学で博士後期課程まで進んだ場合に民間企業に就職できるのでしょうか？  
過去の就職の実績などを教えていただければ幸いです。

A ●理学部ではキャリア支援室での相談や、「親子で読む東北大学理学部・理学研究科 進学・就職ハンドブック」を公開しております。こちらに就職実績や就職に向けた基本的な考え方方が書かれていますのでぜひご確認ください。  
(<https://www.sci.tohoku.ac.jp/career/handbook.html>)



- ・進路先や就活に関する心があります  
特に就活は企業に推薦等などあるのでしょうか

**A** ●現今の就活は、かつてのように、教授ないし研究室からの推薦一発で就活が決まるようなものではなく、もっと複雑化しています。「就活ガイド」を読んでいただければ現代の就活の概要がつかめるかと思いますのでご確認ください。  
(<https://www.sci.tohoku.ac.jp/career/faq.html> )

Q10. 学校推薦がよくわからない

A10. 学校推薦制度は温故を極めています。かつて、学校推薦といえば、学科/専攻からの推薦によってほぼほぼ内定が確定になるような、切り札的な位置付けの制度でした。しかし、現代において学校推薦は採用プロセスで少し有利になる程度のものだったり（例：エントリーシートは絶対に通過するなど）、内定自体を防ぐべく、採用内定後に学生および大学に学校推薦書を提出するよう求めてくる企業もあります。後者の場合、学生にはほとんどなんのメリットもありません。（ひどいよね）

昔ながらの切り札的な学校推薦も残ってはいます。そういう学校推薦は、学科・専攻宛の求人票に隠れています。推薦に限らず、学科・専攻に来ている求人の中にはお得な求人がかなりあります。紙媒体だったりPDFだったりと、検索性に優れているとはいえないことが多いですが、急がば回いで学科・専攻宛の求人票を眺めてみてもいいでしょう。

・教師になるための進路で、大学院は行った方がよいのか聞きたいです。

A ●自治体によっては校長等の管理職になる場合に専修免許状が有利になることがあるようです。

教育職員免許状のうち、一種免許状は、学部を卒業したうえで、教職に必要な単位を修得することにより申請資格を満たすため、大学院への進学は必須とはなりません。

専修免許状の取得申請には、修士の学位が必要となるため、大学院への進学は必須です。

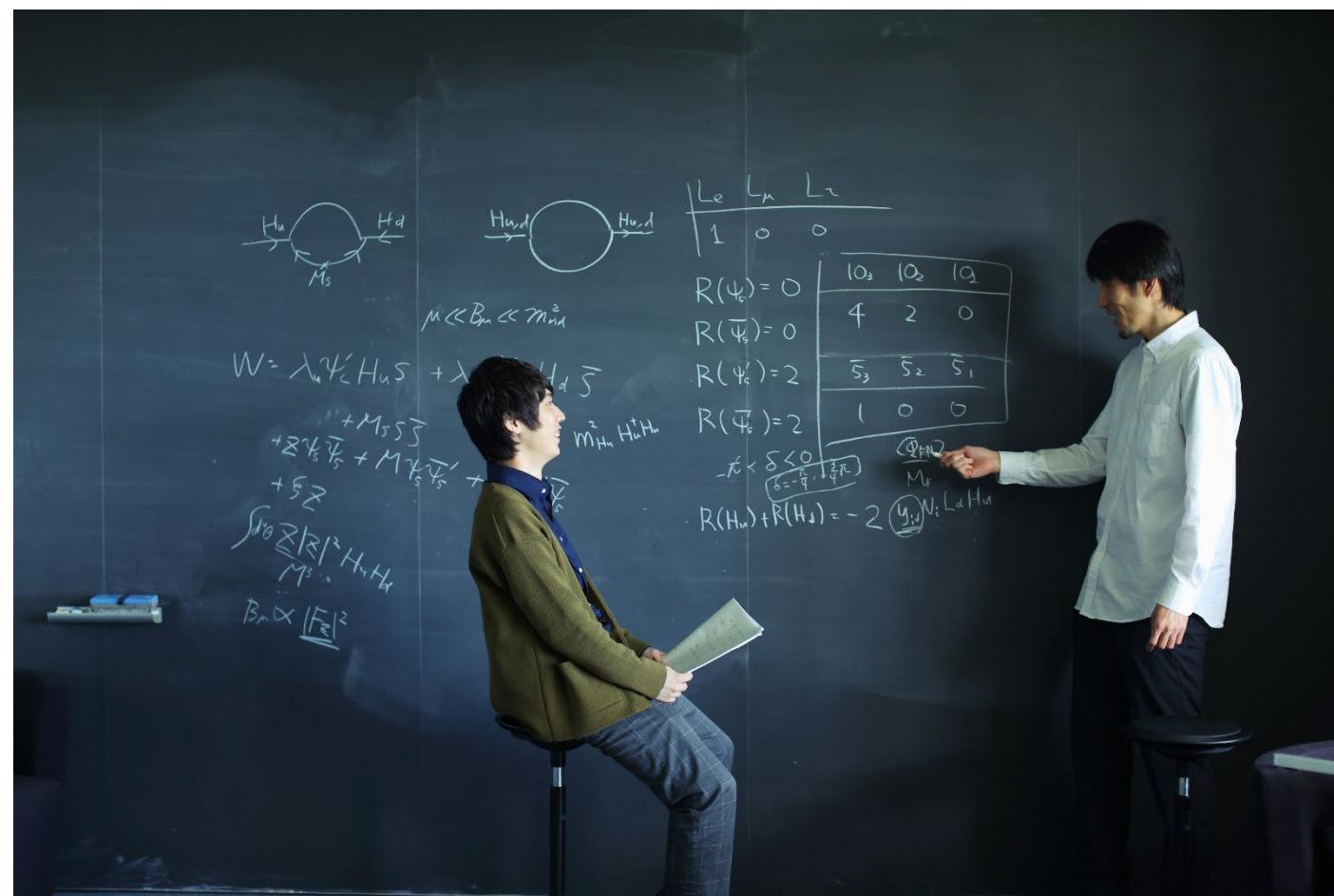
どの種類の免許を取得したいと考えるかによって、進学すべきかどうかが変わってきますので、ご検討いただければ幸いです。

- ・海外で就職されている先輩方はどのような過程を経て海外で就職されたのでしょうか。

A

●海外と一言で言っても色々ですが、もし海外の大学での就職ということであれば、海外の大学の公募を自分で見つけたり、指導教員に紹介してもらったりして、そこにエントリーします。

海外の企業ということであれば、こちらについては海外の求人を取り扱う民間の求人紹介サイトなどがありますので、そちらを利用するか、やはり指導教員や知人からの紹介を経てエントリーする形になります。





# いただいたご質問への回答

オンライン交流会  
「学生生活全般に関すること」

2025年9月13日（土）  
東北大学理学部・理学研究科  
保護者交流会2025

・大学院になって、どのような研究をしているのか知りたいです。

**A** ●専攻によって研究内容は様々ですが、その一部はオープンキャンパスのWebサイトや理学研究科のYouTubeチャンネルからご覧いただけます。  
ほとんどの大学院生は世界で誰も答えを知らない未知の事象・現象の解明に取り組んでいます。



▶ 当日プログラムスケジュール

〈東北大学理学部〉学科・系、研究室紹介

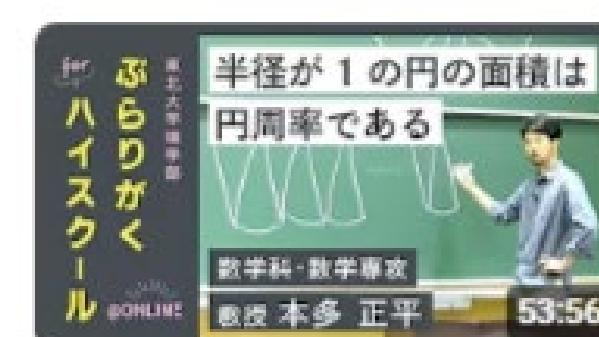
▶ 数学科	▶ 化学科
▶ 物理学科	▶ 生物学科
▶ 地球科学系 地圈環境科学科	▶ 地球科学系 地球惑星物質科学科
▶ 宇宙地球物理学科 地球物理学コース	▶ 宇宙地球物理学科 天文学コース

**東北大学理学部・理学研究科**

@sci\_TohokuUniv · チャンネル登録者数 4030人 · 220 本の動画  
東北大学理学部・理学研究科の公式動画サイトです。...さらに表示  
[sci.tohoku.ac.jp](http://sci.tohoku.ac.jp)、他 1 件のリンク

チャンネル登録

### 人気の動画

 <p>【ぶらりがく for ハイスクール】 講義 半径が1の円の面積は円周率である</p> <p>12万回視聴 · 2年前</p>	 <p>数学科ってどんなところ?</p> <p>3.6万回視聴 · 3年前</p>
---	--

# ・大学院進学後の生活について教えてください。

A

●授業、研究、就職活動など、取り組む内容が多岐に渡るため、かなり忙しく生活されている学生がほとんどです。自分の限界を実感しつつ、優先順位を付けながら、社会で活躍するための基盤となる能力を磨いています。

保護者交流会HPにも学生のキャンパスライフを紹介する動画を掲載していますので、ご参照いただけますと幸いです。

理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

生物学科B2  
板垣さん の場合



理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

地球科学系B2  
柴田さん の場合



理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

数学科B 3  
柳田さん の場合



理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

化学専攻M2  
畠中さん の場合



理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

地球物理学専攻D2  
風間さん の場合



理学部・理学研究科の  
キャンパスライフ

天文学専攻D3  
齋藤さん の場合



・修学の途中段階で、成績や出席欠席の状況など、何かしらの材料で先生などに直接指導などいただくことはあるのでしょうか？

**A** ●学部生の場合、主に必修の授業への出席状況や単位取得状況を見て、各学科で教員が修学指導面談を実施しています。

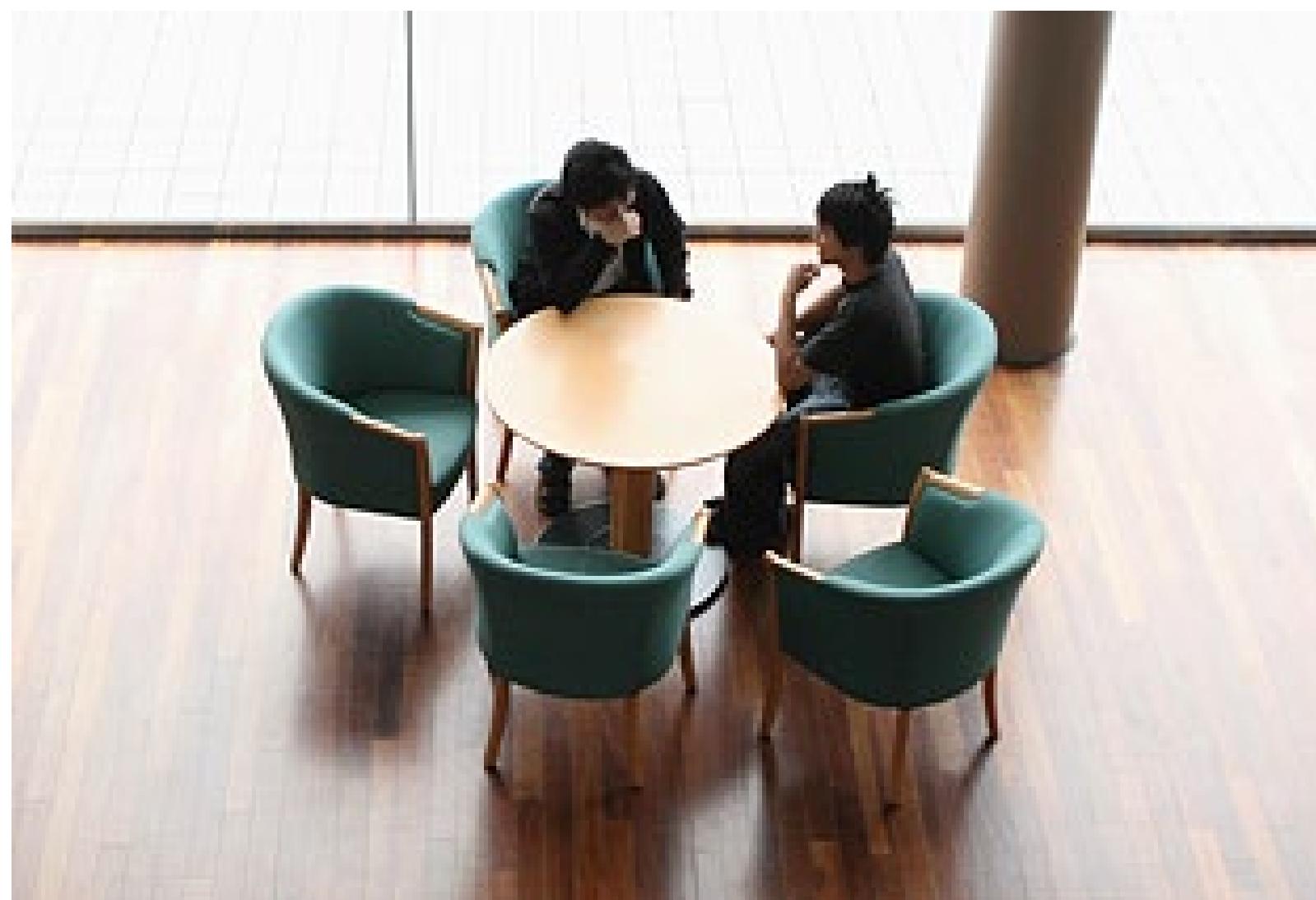
また、キャンパスライフ支援室では毎学期終わりに全学部生の成績を集計し、単位取得に苦戦する学生に対して面談の呼びかけを行っています。



・在学する子供がどの程度勉学に勤しんでいるのか不明です。授業に出席すること 자체は、保護者が思うより重要視されていないのでしょうか。

- A** ●各授業担当教員の判断によって、出席回数を成績評価に反映するかは異なります。

大学では主体的な学びが求められますので、出席回数より授業の理解度の方が重視されます。



## 2025年9月13日(土) 東北大学理学部・理学研究科保護者交流会 2025

### いただいたご質問への回答（当日）

#### 進学・就職・経済支援のこと

Q. 進学就職ハンドブックや保護者懇談会のキャリア支援の取り組みの動画の内容は学生に対しても公開していますか？就活のスケジュールなど学生はわかっているのでしょうか？

A. 年に数度、学生には周知しております（博士は一人ずつ個別に通知）。迷っている学生に対し個別相談も受けています。また、学科/専攻においても、様々な就活イベントを実施しており、こうしたイベントに適切に参加していただければ、就活の基本はご理解いただける形となっています。また、学部・修士に関しては就活がルーティン化していますし、ほとんどの学生はこのことをよく理解し、ソツなく就活に取り組んでいます。博士に関しては、就活のスケジュールが不明瞭ですので、研究科として博士に就活に関する基本情報を積極的に周知するようにしています。

Q. 大学に残って研究を続けるにはどのような方法がありますか？

A. まず博士の学位を取得する必要があります。次に国内外の大学教員の公募に応募することになります。一般に初職は「ポスドク」と呼ばれる任期付のポストとなります。その後以降に任期の定めのない（パーマネント）のポストにチャレンジします。公募の倍率は様々です。

Q. 留学について。学部生の時期で留学する学生はどのくらいますか？また大学院生の割合や、期間は短期か長期かについても教えてください。

A. 本学にはさまざまなプログラムが充実しており全体的な割合は明記するのは難しいです（1人が複数回留学する場合、私費留学する場合などカウントが難しいものもあります）。概算になりますが、理学研究科では毎年延べ100人くらい留学しており、1割くらいが学部生のうちに留学しています。

学部・修士に関しては、グローバルラーニングセンターに留学情報が整理されているのでそちらをご確認いただき、ご自身（お子さま）にあったものを選んでいただくのがおすすめです。博士の場合は、語学留学とは違い、海外の先端的研究機関に研究留学をすることもあります。こうした研究留学は、学位プログラムの一環として行うことが多いので、本研究科のHPの学位プログラムのページをご確認ください。

### 学生生活全般に関すること

Q. 青葉山キャンパスへ通学するようになると川内から電車にのるか電動自転車か原付が必要だと聞くが、電動アシストなしの自転車（川内から上りは自転車を押すとか）で通学する方はいない、少ないのでしょうか？冬に雪が積もって自転車や原付に乗れない時期はありますか？

A. 電動アシストなしの自転車で通学する学生は少ないです。電動アシストなしの場合は、川内キャンパスまで自転車で行き、青葉山には地下鉄で来ることが多いようです。冬は雪よりも路面の凍結の方が危ないため、自転車も原付もお勧めしません。

Q. 通学に電動自転車は必要だと思いますか？

A. 特に研究室配属後は地下鉄の運行時間外に通学・帰宅することもあり得るため、電動自転車があった方が研究生活を送りやすい学生はいます。ただし、全ての学生に必要なわけではありません。

Q. 車で通学できますか？

A. 自宅からキャンパスまで、学部生は3km以上、大学院生は2km以上あり、指導教員の承認が得られれば車通学が許可されることがあります。その他、身体等が不自由等の理由でも車通学が認められることがあります。

Q. 博士の進学を希望しているが、メンタル面できつい思いをすることが多いと聞きます。フォローはあるのでしょうか？

A. 指導教員や身近な学生同士でもフォローしきれない部分は、キャンパスライフ支援室で

フォローします。毎週キャンパスライフ支援室を利用する学生もいます。

Q. 院への進学が決まっているが、卒論、卒業研究は必須でしょうか？旅行したりまとまった時間をとる余裕はありますか？

A. 学科によって卒論の取り扱いが異なります。数学は卒論の代わりに1年間セミナーをします。物理系、化学、生物は卒論の提出の要否を研究室ごとに決めており、卒業研究発表のみの研究室が多いです。地学は卒論の提出と研究発表を両方行うようです。自由なまとまった時間が取れるかは、どれくらい研究に時間を割くかに依ります。春休み中も研究室での活動は可能なため、研究に時間を使わなければ旅行に行くこともできます。

Q. 大学院進学に伴う引っ越しの場合、大学から何か支援や紹介はありますか？

A. 大学からの支援はありません。引っ越しは大学生協で仲介可能ですが、民間の業者を利用する人もいます。住む地域によって家賃相場がかなり異なりますので、利便性と予算の兼ね合いでご検討ください。

Q. 研究途中で教授が定年退職した場合、同じ研究を続けるために、指導する教授を配置してもらえますか？

A. 定年退職の場合は時期が事前に分かるため、そもそも学生を取らないことが多いです。留年をして想定より長く大学に残ることになった場合は、分野の近い教員の研究室に移動し、そちらの研究室で卒業まで指導を受けられます。ただし、完全に同じテーマで研究を続けられるかは個別の状況によって変わります。定年退職ではなく他大学への異動もありますが、その場合はなるべく同じ教員が指導を受けられるよう、学生と相談することが一般的です。